

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会	代表者	徳田 信也
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ハイス こづち	管理者	三浦 正展

法人・事業所の特徴	大槌町社会福祉協議会(大槌町社協)は「この地域に住み続けたい」というみんなの願いの実現を目指し、行政機関、福祉団体等と連携し、地域住民の福祉の向上を図るために活動している民間の福祉団体です。小規模多機能型居宅介護事業所は、通いサービスと訪問サービス、宿泊サービスをひとつの施設で提供できる事業所です。
-----------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	0人	人	1人	2人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の中には、内容が難しいものもあるが、利用者、利用者家族が安心してハイスを利用するにはどのような支援が必要かを全職員意識して支援に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々のミーティングにて利用者の状態や、支援内容について話し合いをしている。 定期的なカンファレンスにて、支援方法を評価し、達成している支援、継続する支援、現在の状態に適した支援について、ケアマネジャーを中心に話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価により、改善計画通り実施できていると思う。 利用者へのサービス提供について、PDCAサイクルをもとに評価や改善点を見出すことができていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価について、項目内容が難しいものもあるが、利用者の気持ち、家族の意向と摺合せどのような支援が必要なのかを全職員で共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内、外の清掃や環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にハイス周辺の草刈りや清掃を実施している。 テラス内部に動物が侵入しないよう柵を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物周辺も環境が整備されていると思う。 利用者対応などで事業所の門を施錠しているかはわからなかったが、説明により施錠していないことがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物周辺の環境には常に気を配り、環境整備に努める。 施設の玄関の施錠は夜間のみとし、外出願望の利用者対応では、見守りや談話、周辺の散歩等を実施することで、利用者のストレス軽減に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により地域住民が参加できるイベントの開催が困難であるが、開催される地域活動には可能な限り参加し、大槌町社協や事業所のPRをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 寺野地区の環境整備作業(草刈り)に参加した。参加の際には、大槌社協職員とわかりやすいように、ボランティアセンターの服を着用し参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動(草刈り)に職員も参加していたことは把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催される行事には、感染対策実施のうえ、可能な限り参加する。引き続き、参加時には施設のPRができるよう心掛ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 季節感を感じてもらえるドライブプレクの実施は感染予防対策を行い継続する。 地域の会合にも参加し、住民への事業所のPRや、意見を聴く場に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> お花見、紅葉を楽しむドライブプレクは感染症予防対策を実施して今期間も実施できた。 今期間も自治会の会合等に参加することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の役員会は3ヶ月に1回の頻度で開催している。 地域のお茶っこの会は日曜日に開催している。カラオケの会も再開している。 地域イベントのスケジュールは 	<ul style="list-style-type: none"> 広報おおつちがハイスにも配布されているため、地域イベントは感染対策実施のうえ可能な限り参加する。 ドライブプレクは引き続き感染対策を行い実施する。

			<p>月1回発行の広報おおつちに差し込んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌がハイスにも届くよう行政連絡員の方と調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイスに設置した「足湯」について、地域活動で活かせる運営方法を検討し、定期的な運用を目指す。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には、役場健康福祉課の方も出席されるので、会議の中で地域に気になる方の情報交換の場としての時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では具体的な事例を話し合うことはなかったが、今後も情報交換ができる場として活用していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議によって事業の取り組みについて理解できている。 ・寺野地区が新しい地区であり、現在でもどのような方が住んでいるのかわからないことも多い。 ・大槌社協が取り組んでいる「支えあいマップ」の活動が良かったため、今後も長い目で地域活動の役に立つと思う。 <p>※外部評価中の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で支援が必要となる方の情報交換については、個人情報の配慮が必要なため、運営推進委員、ハイス職員が各関係機関に繋げやすくするアドバイスができればよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、委員の方々にハイスの運営状況、地域活動等をわかりやすく説明し、さまざまな意見が出せる活発な会議になるように努める。
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で、実施した土砂災害訓練、消防訓練を委員と共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実施した訓練について運営推進会議の中で報告することができた。 ・津波警報が発令された際に、地域住民がハイスに避難し、受け入れを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・津波時の避難所については、地域住民も知っておく必要があるが、ハイス職員もいざという時の避難所は把握しておく必要がある。 ・寺野、臼沢地区の避難所は伝承館になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源及び、緊急時の避難所を職員研修で把握、理解を深める。 ・消防訓練では、地域住民も参加できる開かれた訓練を実施する。